

## フォースタス博士の悲劇（3）

クリストファー・マーロー 作

熊崎久子 訳

### 第五幕，第一場

雷鳴と稲妻。覆いをかけた料理の皿を持った悪魔たち登場  
メフィストフィレス，彼らをフォースタスの書齋へ導く。

ワグナー登場

ワグナー　　ご主人は遠からず死ぬ覚悟をしておられるようだ。

遺言書を作り，財産も，

家も，家財道具も，数有る金の皿も，

その上，鑄造されたばかりの二千ダカットも下さった。

どういうお考えなんだろう。もし死が近付いているのなら，

こんなにはしゃぎ回ったりなさらないだろう。今も学者たちと

夕食をとっておられるが，心底陽気にしておられるのだ

ワグナーがこれまでに見たこともないようなご様子なのだ。

そら，皆さんがやって来るぞ，宴会が終わったらしい。

5

[退場]

フォースタス，メフィストフィレス，2，3人の学者たち登場

第一の学者　　フォースタス博士殿，我々は美人論を戦わせてきました，10  
つまり世界中で最も美しいのは誰かということで，  
そして，ギリシャのヘレンこそこの世に比類ない麗しい女性であるというのが我々の達した結論でした。  
それ故，博士殿，ご厚情に甘えさせて頂き，世の人々が無上のものと称え

て止まない、比ぶものなきギリシャの麗人を見せて頂けますなら、ご貴殿 15  
 に対し衷心よりの感謝を申し上げるでしょう。

フォースタス 諸君、

諸君の友情が偽りのないものであることは、承知しています、  
 また、フォースタスの日頃の習慣に照らせば、  
 それらの方々の正当なご要望を拒むことなどあり得ません、 20  
 皆さんに比類なきギリシャの麗人をお目にかけてしょう、  
 パリスが彼女を連れて海を渡り、  
 富み栄えていたダーダニアに破滅を齎した当時と変わらぬ  
 華麗と威厳に満ちた姿を。  
 さあ、お静かに、口をきくことは禁物です。 25

音楽が奏され、メフィストフィレスがヘレンを導いてくる。  
 ヘレン、舞台上を通り過ぎる

第二の学者 これがあの麗しいヘレンだったのか、その至高の  
 麗しさ故にギリシャ人が10年に亘る戦いを挑み、哀れなトロイを  
 破滅させたのか？ 全世界が彼女の威厳に満ちた美しさを称えるが、  
 私の貧しい知性をもってしては彼女を称えることなど思いもよらない。

第三の学者 これ程までに美しい女王を奪われたのであれば 30  
 怒りに駆られたギリシャ人が10年に亘り戦い続けたとしても不思議はない、  
 彼女の神々しいまでの美しさは競うものすべてを圧している故。

第一の学者 我々は自然の織り成す最高の傑作  
 至上の美の化身を見たのだから、  
 お暇をすることにしよう、そして、この素晴らしい光景を見せて下さった 35  
 フォースタスの上に永遠の幸せと喜びがありますように。

フォースタス 諸君、ご機嫌よう、諸君の上にも幸せと喜びが  
 ありますように。

[学者たち退場]

老人登場





私の心からの願い、憧れを満たして欲しいのだ——

先頃目にしたあの気高く美しいヘレンを

私の愛人にしたいのだ、

彼女に優しく抱かれれば

誓いを破ろうという想念もきれいに消え

95

ルシファーに立てた誓いも守り通せるだろう。

メフィストフィレス            そんなことでも、その他のどんなことでも

フォースタスの望むことなら瞬きひとつする間に適えてやろう。

ヘレン再び登場、二人のキューピッドを左右に、舞台上を通り過ぎる

フォースタス            おう、これが一千隻の船を船出させ、

数々の天をも揺るがすイリウムの塔を焼き払わせた顔なのか？

100

麗しきヘレンよ、お前の接吻<sup>くちづけ</sup>で私を永劫不滅の身にしてくれ。

[ヘレン、接吻をする]

彼女の唇が私の魂を吸い出してしまった。見ろ、私の魂が

あそこを飛んでいる！

さあ、ヘレン、さあ、私の魂を返してくれ。

私はここに住むぞ、この唇が天国だ、

ヘレン以外のものはすべて塵芥<sup>ちりあかた</sup>に過ぎぬ。

105

老人登場

私はパリスになろう、お前への愛のために

トロイの代わりにウイッテンベルヒが略奪の憂き目にあってもかまわぬ、

軟弱なメネラウスと決闘をしてやろう

羽飾りの兜にお前のリボンを付けて、

そうだ、アキレスの踵に傷を負わせ

110

接吻<sup>くちづけ</sup>を求めてヘレンのもとへ戻るのだ。

おう、お前は数知れぬ星々の美しさをまとった

夕闇の夜空よりも遥かに美しい。

薄幸のセメレのもとに現れた  
燃え立つユピテルよりも輝いている、  
魅惑に満ちたアレトウサの紺碧の腕に抱かれた  
大空を統べる君主よりも麗しい。  
お前以外に私の愛する者はいない。

115

[老人を除いて全員退場]

老人 呪われたフォースタス、哀れな人間よ、  
自分の魂から天の恩寵を追い出してしまい  
神の裁きの場から逃げ出すとは！

120

#### 悪魔登場

サタンが思い上がって私を試しにやって来た。  
神はこのような試練の中で私の信仰を試されるのだ、  
邪悪な地獄よ、私の信仰はお前たちに勝つ。  
驕れる悪魔たちよ、見るがよい、お前たちが私に拒絶されるのを見て  
神がほほ笑み、お前たちの権力とやらを嘲り笑っておられるのを。  
去れ、地獄よ、私は神のみもとへ飛んで行く。

125

[全員退場]

#### 第五幕，第二場

雷鳴。ルシファー、ベルゼバブ、メフィストフィレス、上舞台に登場

ルシファー 我々がこのようにして地獄の闇の中から地上に上るのも  
我が王国に隷属する者たちを見るためだ、  
魂が犯した罪により地獄の暗黒の息子となる契約をした者たちだ、  
中でもとりわけ重要な者、フォースタスよ、我らはお前のところへ  
お前の魂を待って、  
永劫の呪いを携えてやって来たのだ。

5



フォースタス ああ、学寮で同室だった優しい友よ、もしも私が  
諸君と共に暮らしていたなら、なおも長く生きていられたでしょう、  
だが、今や私は永劫の死を逃げなければならない。見てくれ、諸君、  
あいつが来たのでは？ 来たのでは？ 30

第一の学者 おお、フォースタス殿、どうしたのです、  
こんなに脅えて？

第二の学者 我々の喜びのすべてが憂愁に変わってしまうのか？

第三の学者 余りにも孤独でおられたので調子を崩されたのでは。

第二の学者 そうであれば医者と呼ばばよい、フォースタスは  
直るに違いありません。 35

第三の学者 食傷に過ぎないのでは、心配することはありません。

フォースタス 恐ろしい罪の食傷です、そのために体も魂も地獄へ  
墜ちるのだ。

第二の学者 だがフォースタス、天を仰ぎ、神の恵みが無限である  
ことを思い起こして下さい。 40

フォースタス しかしフォースタスの犯した罪は決して赦されはしない。  
イヴを誘惑した蛇が赦されることがあっても、フォースタスは赦されない  
のです。ああ、諸君、忍耐をもって私の話を聞いて下さい、話を聞いて震  
えたりしないで下さい。私がこの地で30年間学徒であったことを思うと、  
私の胸は喘ぎ、震えおののきます、おお、ウイッテンベルヒを見なければ 45  
よかったのだ、書物など決して読まなければよかったのだ。私がこれ迄に  
行った驚異を全ドイツが、いや全世界が目撃してきた、そのためにフォー  
スタスはドイツも全世界も失ってしまった、そうです、天国さえも、神の  
御座所である天国、祝福された者の座所であり、喜びの王国である天国を  
失って、地獄に未来永劫留どまらなければならないのだ。地獄に、ああ、 50  
地獄に未来永劫だ！ 愛しい友人たちよ、地獄に永遠に留どまるとなれば、  
フォースタスはどうなるのだろうか？

第二の学者 フォースタス、神の御名を呼びなさい。

フォースタス 神を、フォースタスが誓って捨てた神を？ 神を、  
フォースタスが冒瀆してきた神を？ ああ、何ということだ、私は泣きた  
い、だが悪魔が私の涙を引き込めてしまう。涙の代わりに血を吹き出し 55  
てくれ、命でも魂でもほとぼしり出しまえ。おお、あいつが私の舌を  
押さえつけている！ 両手を挙げたい、だが、見よ、あいつらが押さえて



いる、あいつらが私の両手を押さえている。

全員 誰のことです、フォースタス？

フォースタス 勿論、ルシファーとメフィストフィレスだ。ああ、  
諸君、私は魔術を得るために私の魂を彼らに与えてしまったのです。 60

全員 神がお宥しにならないことを！

フォースタス 正に神がお宥しにならないことだ、それをフォースタス  
は犯してしまった。24年間の空しい快樂のためにフォースタスは永遠の  
喜びと至福を失ってしまったのです。私は自分自身の血で誓約書をしたた  
めた。その期限が切れたのです。今がその期限の時、彼が私を  
連れに來ます。 65

第一の学者 何故フォースタスはそのことをもっと以前に話してくれな  
かったのですか？ 聖職者たちがあなたのために神に祈ってくれた  
でしょうに。

フォースタス 何度もそうしようと考えました、しかし悪魔が、私が神  
の名を口にするなら、私の体をずたずたに引き裂く、また神の言葉に再び  
耳を傾けるなら、私の体も魂も引きさらって行くと脅したのです。今となっ  
てはもう遅いのです。諸君、この場を離れて下さい、私と一緒に地獄へ墮  
とされるといけませんから。

第二の学者 おお、フォースタスを救うために何をすればよいのだ？

フォースタス 私のことは構わないで、諸君自身を救うことを考え  
ここを立ち去って下さい。

第三の学者 神が私に力をかけて下さるだろう、私はフォースタスと共  
にここに残ります。

第一の学者 君、神を試してはならない、我々は隣の部屋に行って、75  
彼のために祈ろうじゃないか。

フォースタス ああ、祈って下さい、祈って下さい、そしてどんな  
物音を聞いても、決して私のところへは来ないで下さい。

第二の学者 あなたも祈りなさい、我々も神があなたにお恵みを垂れ  
給うように祈ります。 80

フォースタス 諸君、お別れです。もし朝まで生きていたら、あなた  
方を訪ねます。もし訪ねなければフォースタスは地獄へ行ったのです。

全員 フォースタス、さようなら。

[学者たち退場]

メフィストフィレス [上舞台で]                   いいな、フォースタス、お前の  
天国への望みは断たれた、  
絶望し、地獄のこののみを考えろ、  
地獄がお前の住み家となり、お前はそこで暮らすのだ。 85

フォースタス                   おお、お前は人間を惑わす悪魔だ、お前の誘惑により  
私はこの永遠の幸せを奪われてしまった。

メフィストフィレス                   その通りだ、フォースタス、そしてそのことを  
喜んでいるのだ。

お前が天国への道を歩いている時、  
お前の行く手を妨げたのはこの俺さ、  
お前が聖書を手にし、神の言葉を読もうとする度に、ページを繰り、  
お前の目をそらせるようにしたのもこの俺さ。  
おや、泣いているのか？ もう手遅れだ。諦めるんだ！さらばだ！  
この世で笑う愚か者は地獄で泣くのがお決まりだ。 90  
95

[退場]

善天使と悪天使、別々の扉から登場

善天使                   ああ、フォースタス、お前が私の言葉に耳を貸していたなら、  
数知れぬ喜びがお前と共にあったであろうに、  
だがお前は世俗を愛してしまった。

悪天使                   私の言葉に耳を貸し、  
お前は地獄で永劫の苦しみを味わうことになったのだ。

善天使                   おお、お前の富、快楽、虚飾、これらすべてが今のお前に 100  
何の役に立つのだ？

悪天使                   何の役にも立たぬ、お前をますます苦しめるだけで、  
この世であれ程潤沢であったものに、地獄では窮乏せねばならぬ。

音楽。それと共に神の玉座が降りてくる

善天使                   おお、お前は天国の幸せ、言葉に尽くせぬ喜び、

無限の祝福を失ってしまったのだ。

お前が汚れなき神の言葉に倣っていたならば、 105

地獄も悪魔もお前に力を及ぼすことはできなかつたであろうに。

もしもお前がそのような道を歩み続けていたならば、フォースタス、

見よ、どれほど輝かしい栄光のうちに、

きらめき輝く聖人たちのように、あの玉座に座し、

地獄に対し勝利を勝ち得ていたことか。それをお前は失ってしまったのだ。 110

哀れな魂よ、今となっては善天使はお前から去らねばならぬ。

[玉座、上へ上がる]

地獄の顎が開いてお前を受け入れようと待ち構えている。

[退場]

地獄が現れる

悪天使 さあ、フォースタス、恐怖に脅えるお前の目に

見せてやるがよい、あの巨大な永劫の苦しみの住み家。

あそこでは怨霊たちが赤々と焼けたくま手で呪われた魂たちを 115

放り投げている、その肉体は溶けた鉛の中で煮られているのだ。

またあそこでは五体が生きたまま炭火の上であぶられている、

決して死ぬことはないのだ。この永遠の炎に包まれている椅子は

苦しみさいなまれた魂が憩うところなのだ。

そこで焰立つ火を食わされている連中は 120

生前は大食漢で、美食のみを好み

門前で貧しい者たちが飢えているのを見て嘲っていた者たちだ。

だが、こんなことは大したことではない、お前がこれから目にするのは

もっと恐ろしい、幾千もの拷問なのだ。

フォースタス おお、私を苦しめるものを見るのはもう沢山だ。 125

悪天使 見るだけではない、お前はその苦痛を身をもって感じ、

すべてを味わわなければならぬ。

快樂を愛する者は快樂故に地獄に堕ちねばならぬ。

では、フォースタス、しばしの間、お前を一人にしてやろう。

やがてお前は錯乱し転げ回るがよい。



死と地獄を私の運命と定めた星たちよ、  
 今こそこのフォースタスを深く立ち込めた霧のように  
 彼方に渦巻く雲の峰の内奥深くへ吸い込んでくれ、  
 お前たちが大気の中へ息を吐き出す時、  
 私の手足は煙立つその口の中から飛び出し、  
 私の魂のみは天国へ昇っていけるようにしてくれ。

155

160

[時計が鳴る]

ああ、半時間が経ってしまった、残りの時間も直ぐに去ってしまう。  
 おお、神よ、  
 あなたが私の魂に慈悲を垂れるのを好まれないとしても、  
 その血を私を贖うためにも流された、キリストのために、  
 絶えることのない私の苦しみをどこかで終わらせて下さい。  
 フォースタスを地獄に千年、いや万年もお置きになっても構いません、  
 でも最後には救われるようになさって下さい。  
 おお、地獄に堕ちた魂には終わりはないのだ。  
 お前は何故魂のない生物に生まれてこなかったのだ？  
 お前のもっている魂が不滅なのは何故なのだ？  
 ああ、ピタゴラスの靈魂流転再生、もしそれが真実ならば、  
 この魂は私から飛び出し、私は何か野獣のようなものに  
 変われたものを。獣たちは皆幸せだ、  
 なぜなら、死ねば  
 その魂はたちまち四元素の中に溶解してしまうからだ、  
 だが私の魂は生き続け地獄の苦しみを受けるのだ。  
 私に生を与えた両親に呪いあれ！  
 いや、フォースタス、お前自身を呪え、ルシファーを呪え  
 天国の喜びをお前から奪った奴だから。

165

170

175

[時計、12時を打つ]

おお、鳴っている、鳴っている！ さあ、体よ、大気が変わってしまえ、  
 さもなければルシファーが直ちにお前を地獄へ連れて行く。

180

おお、魂よ、小さな水滴となれ、  
大海の中に落ち、見付けられることのないように！

雷鳴、悪魔たち登場

神よ、私の神よ、そのような恐ろしい顔で私を見ないで下さい！  
 蝮よ、蛇よ、少しの間だけでも私に息をつかせてくれ！ 185  
 醜い地獄よ、口を開けるな！ ルシファー、来ないでくれ！  
 魔術の本など皆燃やしてしまいたい！ ああ、メフィストフィレス！

[フォースタス、悪魔たち退場]

### 第五幕、第三場

学者たち登場

第一の学者 さあ、皆さん、フォースタスのところへ行ってみよう。  
 あのように恐ろしい夜はこの世界が創造されて以来  
 一度として見られたことはなかった。  
 あのような恐ろしい叫び声や鳴き声も未だかつて聞かれたことは  
 ありません。

博士が危険を逃れられたことを神に祈ります。 5

第二の学者 おお、何ということ！ ご覧なさい、ここに  
 フォースタスの手足が死の手によってずたずたに引き千切られている。

第三の学者 フォースタスが仕えていた悪魔たちが彼をこのように  
 引き裂いたのだ、

12時と1時の間に彼が悲鳴を上げ、  
 助けを求めて叫んでいるのを聞いたような気がします、 10  
 ちょうどその時この家が炎に包まれ  
 あのような恐ろしい悪魔たちに恐れおののいているようでした。

第二の学者 さて、皆さん、フォースタスの最後が  
 考えるだけでもキリスト教徒の心を悲しませるものであったとしても、  
 かつてはドイツ中の大学においてその学識を称賛されていた 15

学者であったことを思えば、  
私たちはこのずたずたにされた手足を彼に相応しく葬ってあげましょう、  
全学生に喪服を付けさせ、  
彼の悲しい葬儀に参列させましょう。

[全員退場]

エピローグ

コーラス登場

コーラス            真っ直ぐに高々と延びる筈であった枝は切り落とされた、  
かつてはこの博学の士の内に育っていた  
アポロの月桂樹の大枝は焼かれてしまった。  
フォースタスは行ってしまった。彼の墮地獄について考えて見よ、  
彼の恐るべき運命は賢明なる者への訓戒となるであろう            5  
掟に背く行為にはただ驚嘆するに止どめよ、  
その深淵を窺うことは優れた知力を惑わし  
神のお許しにならぬことを行うことにもなるのだ。

[退場]

「時は一日を終わらせ、作者はペンをおく。」

## 【注】

## 第五幕第一場

- line. 23.           ダーダニア   トロイのこと。
100.           イリウム    古代トロイのラテン名。
108.           メネラウス   トロイのヘレンの夫。
110.           アキレス    トロイ戦争時のギリシャの英雄，パリスの放った矢によって踵に致命傷を受けた。
114.           セメレ       『ギリシャ神話』カドマスとハルモナの娘。ユピテルに愛され，その子ディオニソスを産む。稲妻の神としてのユピテルの荘厳な姿を見たいと願い，その姿で現れたユピテルの焰に焼かれて死ぬ。
- 116-117.       『ギリシャ神話』の中にはこのようなエピソードは記されていない。アレトウサはネレイスの一人で，シラクサの近く，オルティギア島にある泉を支配するニンフ。

## 第五幕第二場

- line. 139.       O lente, lente currite noctis equi! (Ovid : Amores)
171.           ギリシャの哲学者ピタゴラスの称えた「魂の輪廻説」は当時の人々に信じられていた。

## エピローグ

- line. 9.       Terminat hora diem ; terminat author opus.